

金井喜久子 作曲家。沖縄の旋律を用いて沖縄音楽の世界への普及に努め、採譜により「琉球の民謡」も出版した。

かないきくこ

満鉄発足・1906 = 沖縄県宮古島平良で、琉球王朝芸能奉行つとめた名門県会議員川平朝儀の三女に生まれる。母はオミト。

明治天皇没・1912 = 6歳 :

第一次大戦始1914 = 8歳 : 琴を学び、

21ヶ条要求・1915 = **9歳** :

民本主義・1916 = 10歳 : 琵琶を学ぶ。
沖縄県第一高女在学中、

ハル仁条約・1919 = 13歳 : **ヴァイオリンを習い始め、**

原敬首相暗殺1921 = 15歳 :

次第に、洋楽に興味を抱く一方、教師から沖縄民謡は下品だと叱責されて、逆に沖縄音楽に志向。

護憲三派圧勝1924 = **18歳** :

金融恐慌・1927 = 21歳 : **周囲の猛反対を押し切って上京し、日本音楽学校声学科に入学、**

満州事変・1931 = 25歳 :

五一五事件・1932 = 26歳 : トロンボーン奏者金井巖四郎と結婚、終生生き理解者として支えられる。

国際連盟脱退1933 = **27歳** : **卒業。沖縄音楽を広く知らしめようと、東京音楽学校作曲科に女性として初めて入学し、**
呉泰次郎・下総院一に師事、

二二六事件・1936 = 30歳 : **卒業後、研究科に進み、**

日中戦争始・1937 = 31歳 :

健保+総動員 1938 = 32歳 : **修了。引き続き、呉泰次郎に和声学を学び、**

第二次大戦始1939 = 33歳 : **{呉泰次郎及びその門下生作品発表会}で歌曲「月夜」「銀杏」を発表したのを皮切りに、**

大政翼賛会・1940 = 34歳 : **未完ながら日本女性初といわれる「交響曲第1番」を作曲し、{第4回同交響作品発表会}で自ら指揮して発表するも、以後封印してしまう。以後4年、尾高尚志に管弦楽法を学ぶ。**

日米開戦・1941 = 35歳 : ***交響詩曲「琉球の思い出」で、自ら思うところを実現すると、**

年金+総武装 1944 = 38歳 : **夫とともに、戦前一度だけの帰省。**

敗戦・1945 = 39歳 : **果敢にも、日比谷公会堂で{金井喜久子第1回作品発表会}を開き、指揮予定の尾高尚志が突然応召となるなか、自ら指揮して「琉球舞踏組曲その1」と交響詩「宇宙間の詩」発表し、大成功。**

新憲法公布・1946 = 40歳 : **悲惨な沖縄の人たち励まそうと{美しき琉球民謡による歌と管弦楽と舞踏の会}を開き、名作となる交響詩「梯栢の花咲く琉球」を発表。**

新憲法施行・1947 = 41歳 : **{金井喜久子第2回作品発表会}を開き、「琉球狂詩曲第1番」「交響曲第2番」「琉球舞踏組曲その2」を発表。以後4年、平尾貴四男に対位法などを学ぶ。**

三大事件・1949 = 43歳 : **バレエ音楽「宮古島縁起」「琉球秘話」、**

朝鮮戦争始・1950 = 44歳 : **作曲家グループ白濁会の結成に加わって後も、時流に流されることなく、**

独立回復・1951 = **45歳** : **帝劇における宝塚雪組公演のために「今帰仁城物語」、**

自衛隊発足・1954 = 48歳 : **沖縄の伝統民謡、童謡を採譜し、**

***サンパウロの国際民族音楽会議に日本代表として出席。同地でケロイテルに師事。「琉球の民謡」出版し、**

55年体制始・1955 = 49歳 : **毎日出版文化賞、**

国連加盟・1956 = 50歳 : **マーロン・ブランド出演の映画「八月十五日の茶屋」の音楽を担当。**

安保闘争・1960 = **54歳** : **歌舞伎座の「唐船物語」の音楽を担当。**

TV宇宙中継始1963 = 57歳 : **オペレッタ「戻り笠籠」を作曲。**

東京リカク 1964 = 58歳 : **著書「金井喜久子」、**

いざなぎ景気1966 = 60歳 : **「ピアノ五重奏曲」「琉球ラブソディ」、**

電ヶ関ビル・1968 = 62歳 : **「グランド・オペラ「沖縄物語」を作曲し、沖縄タイムス文化賞・琉球政府賞、**

全共闘ビーク・1969 = **63歳** :

ドルショック・1971 = 65歳 : **童謡「じんじん」を作曲、ひばり児童合唱団が歌って、日本レコード大賞童謡部門賞、**

日中国交回復1972 = 66歳 : **組曲「御前風の幻想・空手の舞曲」、**

石油ショック1973 = 67歳 :

角栄金脈辞任1974 = 68歳 : **「沖縄綺想組曲」、バレエ音楽「竜神まつり」、**

田中角栄逮捕1976 = 70歳 : **「児童劇「眠り虫次郎」、**

成田衝突・1978 = **72歳** : **{琉球新報}に自伝を連載、のちに「ニライの歌」として刊行される。**

貿易摩擦問題1980 = 74歳 : **オペレッタ「頓智小僧 "三良小"(さんらーぐあー)」、**

中曽根内閣・1982 = 76歳 : **勲五等瑞宝章をうけて、**

バブル始・1986 = 80歳 : **没した。**

日本現代音楽協会会員で、日本民族音楽協会理事もつとめた。

インターネット「日本の作曲家たち5」ほか、